

参考図表

利用上の注意

- 1 表示単位未満の端数は、四捨五入した。
したがって、計と内訳とは必ずしも一致しない。
- 2 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による
計算値とは必ずしも一致しない。
- 3 表に使用した記号
 - (1) 「0」は、単位に満たないもの。
 - (2) 「▲」は、マイナスのもの。
 - (3) 「…」は、事実不詳のもの。
 - (4) 「－」は、該当のないもの。
 - (5) 「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を
保護するため、統計数値を公表しないもの。



目 次

1 水産基本指標	1
2 水産物需給	
2-1 漁業・養殖業部門別生産量及び生産額の推移	2
2-2 海面漁業主要魚種別生産量及び産出額の推移	3
2-3 海面養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移	4
2-4 内水面漁業・養殖業主要魚種別生産量及び産出額の推移	4
2-5 漁業・養殖業都道府県別生産量及び産出額（令和3（2021）年）	5
2-6 水産物の主要品目別輸入数量及び金額の推移	6
2-7 輸入金額の上位3か国からの主要輸入品目の金額	6
2-8 水産物の主要品目別輸出数量及び金額の推移	7
2-9 輸入金額の上位3か国（地域）への主要輸出品目の金額	7
2-10 主要品目別産地価格の推移	8
2-11 魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移	8
2-12 1人1年当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）	9
3 国 際	
3-1 世界の漁業・養殖業生産量の推移	10
3-2 食用魚介類供給量の推移	11
（1）主要国別供給量の推移	11
（2）国民1人1年当たりの供給量の推移	11
3-3 マグロ類に関する情報	11
（1）国・地域別漁獲量	11
（2）魚種別漁獲量	12
（3）我が国への供給量の推移	12
4 漁業経営・生産構造	
4-1 漁業経営体数の推移	13
4-2 経営組織別漁業経営体数の推移	14
4-3 沿岸漁家の漁労所得の推移	14
4-4 沿岸漁船漁家の漁業経営状況の推移	14
4-5 沿岸漁船以外の漁家の経営状況の推移	15
4-6 海面養殖業漁家の経営状況の推移	15
4-7 会社経営体（漁船漁業）の漁労収益の状況（令和3（2021）年度）	16
4-8 会社経営体（漁船漁業）の収益状況の推移	16
4-9 会社経営体（漁船漁業）の財務状況等の推移	17
4-10 漁協（沿海地区出資漁協）の事業規模（全国）の推移	17

4－11	沿岸及び沖合・遠洋漁業別就業者数の推移	18
4－12	新規漁業就業者数の推移	18
4－13	我が国の漁船勢力の推移	18

5 漁 村

5－1	漁港数の推移	19
5－2	漁港登録漁船隻数の推移	19

6 水産物の栄養

6－1	1人1日当たりの食品群別栄養素等摂取量（令和元（2019）年）	19
6－2	DHA及びIPAを多く含む食品の例	20



1 水産基本指標

	項 目	デ ー タ	備 考
経済指標	排他的経済水域等	447万km ²	国土面積37.8万km ² 、国土面積の約12倍
	国内総生産（名目GDP）	水産業は6,370億円（令和3年）	総生産は549兆円
水産物需給	自給率	・食用魚介類：59% （令和3年度概算値） ・魚介類全体：57% （令和3年度概算値） ・海藻類：69% （令和3年度概算値）	・食用魚介類自給率目標（水産基本計画、重量ベース） 令和14年度 94% ・食用魚介類自給率ピーク 昭和39年度 113%
	漁業・養殖業生産量	421万t（令和3年）	生産量ピーク 1,282万t（昭和59年）
	漁業生産額	1兆3,999億円（令和3年概算値）	生産額ピーク 2兆9,772億円（昭和57年）
	漁業産出額	1兆3,791億円（令和3年概算値）	
	種苗の生産額	208億円（令和3年概算値）	
	生産漁業所得	6,882億円（令和3年概算値）	
貿易	輸入額	2兆711億円（令和4年）	農林水産合計13兆4,180億円
	輸出額	3,873億円（令和4年）	農林水産合計1兆4,148億円
漁業経営	沿岸漁家の漁労所得	178万円（令和3年）	
	沿岸漁船漁家	114万円（令和3年）	
	海面養殖業漁家	496万円（令和3年）	
生産構造	漁業経営体数	6.5万経営体（令和3年）	昭和38年は26.7万経営体
	漁業就業者数	12.9万人（令和3年）	昭和36年は69.9万人
	漁業協同組合数	1,743組合（沿海地区漁協は864組合） （令和4年度末）	昭和41年は2,476組合 （漁業協同組合合併助成法の施行直前の沿海地区漁協数）
	漁船数	113,930隻（令和3年）	昭和43年は345,606隻
	漁港数	2,780港（令和4年度4月）	平均すると海岸線約12.7kmごとに存在
	漁業集落数	6,298集落（平成30年）	平均すると海岸線約5.6kmごとに存在

注：1）漁業生産額は、漁業産出額（漁業・養殖業の生産量に産地市場卸売価格等乗じて推計したもの）に種苗の生産額を加算したもの。
 2）生産漁業所得とは、漁業産出額から物的経費（減価償却費及び間接税を含む。）を控除し、経常補助金を加算したもの。

2 水産物需給

2-1 漁業・養殖業部門別生産量及び生産額の推移

〔単位〕数量：千 t
金額：億円

		平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
									令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
生産量	合計	4,766	4,368	4,306	4,427	4,204	4,236	4,215	▲ 11.6	▲ 0.5
	海面	4,693	4,305	4,244	4,371	4,151	4,185	4,163	▲ 11.3	▲ 0.5
	漁業	3,824	3,273	3,258	3,366	3,235	3,215	3,236	▲ 15.4	0.7
	遠洋漁業	431	334	314	349	329	298	279	▲ 35.3	▲ 6.6
	沖合漁業	2,264	1,945	2,052	2,048	1,977	2,046	2,020	▲ 10.8	▲ 1.3
	沿岸漁業	1,129	994	893	969	930	871	938	▲ 17.0	7.7
	養殖業	869	1,033	986	1,005	915	970	927	6.7	▲ 4.4
	内水面	73	63	62	57	53	51	52	▲ 29.2	1.8
	漁業	34	28	25	27	22	22	19	▲ 44.8	▲ 13.1
	養殖業	39	35	37	30	31	29	33	▲ 15.5	13.0
生産額	合計	14,191	15,853	16,034	15,642	14,921	13,397	13,999	▲ 1.3	4.5
	海面	13,274	14,715	14,837	14,429	13,700	12,269	12,759	▲ 3.9	4.0
	漁業	9,400	9,617	9,587	9,369	8,693	7,721	8,067	▲ 14.2	4.5
	養殖業 (うち種苗)	3,874 168	5,098 210	5,250 271	5,060 199	5,007 205	4,549 191	4,693 178	21.1 6.0	3.2 ▲ 6.9
	内水面	917	1,138	1,197	1,213	1,220	1,128	1,240	35.2	9.9
	漁業	201	198	198	185	164	165	154	▲ 23.5	▲ 6.6
	養殖業 (うち種苗)	716 36	940 47	998 49	1,028 46	1,057 30	963 28	1,086 29	51.7 ▲ 18.2	12.8 5.4

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 生産量は、令和5（2023）年3月31日時点の数値。

2) 平成23（2011）年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県においてデータを消失した調査対象があり、消失したデータを含まない。

3) 遠洋漁業とは、平成23（2011）～30（2018）年は遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型1 そうまき網遠洋かつお・まぐろまき網漁業、太平洋底刺し網等漁業、遠洋まぐろはえ縄漁業、大西洋等はえ縄等漁業、遠洋かつお一本釣漁業及び遠洋いか釣漁業、令和元（2019）年以降は遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、大中型1 そうまき遠洋かつお・まぐろまき網漁業、太平洋底刺し網等漁業、遠洋まぐろはえ縄漁業、大西洋等はえ縄等漁業、遠洋かつお一本釣漁業及び沖合いか釣漁業（沖合漁業に属するものを除く。）をいう。

4) 沖合漁業とは、平成23（2011）～30（2018）年は沖合底びき網1 そうびき漁業、沖合底びき網2 そうびき漁業、小型底びき網漁業、大中型1 そうまき網近海かつお・まぐろまき網漁業、大中型1 そうまき網その他のまき網漁業、大中型2 そうまき網漁業、中・小型まき網漁業、さけ・ます流し網漁業、かじき等流し網漁業、さんま棒受網漁業、近海まぐろはえ縄漁業、沿岸まぐろはえ縄漁業、東シナ海はえ縄漁業、近海かつお一本釣漁業、沿岸かつお一本釣漁業、近海いか釣漁業、沿岸いか釣漁業、日本海べにずわいがに漁業及びずわいがに漁業、令和元（2019）年以降は沖合底びき網漁業、小型底びき網漁業、大中型1 そうまきその他のまき網漁業、大中型2 そうまき網漁業、中・小型まき網漁業、さけ・ます流し網漁業、かじき等流し網漁業、さんま棒受網漁業、近海まぐろはえ縄漁業、沿岸まぐろはえ縄漁業、東シナ海はえ縄漁業、近海かつお一本釣漁業、沿岸かつお一本釣漁業、沖合いか釣漁業（遠洋漁業に属するものを除く。）、沿岸いか釣漁業、日本海べにずわいがに漁業及びずわいがに漁業をいう。

5) 沿岸漁業とは、平成23（2011）～30（2018）年は船びき網漁業、その他の刺網漁業（遠洋漁業に属するものを除く。）、大型定置網漁業、さけ定置網漁業、小型定置網漁業、その他の網漁業、その他のはえ縄漁業（遠洋漁業または沖合漁業に属するものを除く。）、ひき縄釣漁業、その他の釣漁業、採貝・採藻漁業及びその他の漁業（遠洋漁業または沖合漁業に属するものを除く。）、令和元（2019）年以降は船びき網漁業、その他の刺網漁業（遠洋漁業に属するものを除く。）、大型定置網漁業、さけ定置網漁業、小型定置網漁業、その他の網漁業、その他のはえ縄漁業（遠洋漁業または沖合漁業に属するものを除く。）、ひき縄釣漁業、その他の釣漁業及びその他の漁業（遠洋漁業または沖合漁業に属するものを除く。）をいう。

6) 海面養殖業とは、海面または陸上に設けられた施設において、海水を使用して水産動植物を集約的に育成し、収穫する事業をいう。なお、海面養殖業には、海面において、魚類を除く水産動植物の採苗を行う事業を含む。

7) 内水面漁業とは、公共の内水面において、水産動植物を採捕する事業をいう。

8) 内水面養殖業とは、一定区画の内水面又は陸上において、淡水を使用して水産動植物（種苗を含む。）を集約的に育成し、収穫する事業をいう。

9) 海面漁業生産額の合計には、捕鯨業を含む。

10) 内水面漁業・養殖業生産量は、平成23（2011）年は主要108河川24湖沼、平成28（2016）～30（2018）年は主要112河川24湖沼、令和元（2019）年以降は主要113河川24湖沼の値である。内水面養殖業収獲量は、平成23（2011）～30（2018）年はます類、あゆ、こい及びうなぎの4魚種、令和元（2019）年以降はます類、あゆ、こい、うなぎ及びにしきごいの5魚種である。また、収獲量には、琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦において養殖されたその他の収獲量を含む。

11) 生産額は、種苗の生産額を含む。



2-2 海面漁業主要魚種別生産量及び産出額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率(%)	
									令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
生 産 量	合 計	3,824	3,273	3,258	3,366	3,235	3,215	3,236	▲15.4	0.7
	ま ぐ ろ 類	201	168	169	165	161	177	149	▲26.0	▲15.9
	か じ き 類	17	14	13	12	11	10	9	▲44.5	▲11.9
	か つ お 類	282	240	227	260	237	196	252	▲10.7	28.5
	さ け ・ ま す 類	148	112	72	95	60	63	61	▲58.9	▲3.3
	い わ し 類	570	715	768	741	812	945	943	65.4	▲0.2
	う ち、ま い わ し	176	382	498	524	561	698	682	287.8	▲2.4
	う ち、か た く ち い わ し	262	171	146	111	130	144	119	▲54.4	▲17.1
	あ じ 類	193	152	164	135	114	110	106	▲45.0	▲3.6
	さ ば 類	393	507	519	545	452	390	443	12.8	13.4
	さ ん ま 類	215	114	84	129	46	30	20	▲90.9	▲34.2
	ぶ り 類	111	108	120	100	109	106	95	▲14.7	▲11.0
	ひ ら め ・ か れ い 類	55	50	54	48	48	46	41	▲25.6	▲10.6
	た ら 類	286	178	174	178	207	217	231	▲19.1	6.9
	う ち、す け と う だ ら	239	134	129	127	154	160	175	▲27.0	8.9
	ほ っ け	63	17	18	34	34	41	45	▲27.3	10.8
	た い 類	28	25	25	25	25	23	24	▲13.1	3.7
	い か 類	298	110	104	84	73	82	64	▲78.6	▲22.3
	う ち、す る め い か	242	70	64	48	40	48	32	▲86.6	▲32.9
	ほ た て が い	303	214	236	305	339	346	356	17.5	2.9
	上 記 以 外 の 魚 種	661	548	512	508	505	432	398	▲39.8	▲8.0
産 出 額	合 計	9,400	9,617	9,587	9,369	8,693	7,721	8,067	▲14.2	4.5
	ま ぐ ろ 類	1,230	1,167	1,229	1,237	1,292	1,169	1,236	0.5	5.7
	か じ き 類	100	104	100	96	84	76	73	▲26.9	▲3.9
	か つ お 類	633	645	691	608	520	462	515	▲18.6	11.5
	さ け ・ ま す 類	702	668	666	601	354	434	503	▲28.3	16.0
	い わ し 類	503	652	671	761	713	716	652	29.6	▲8.9
	う ち、ま い わ し	89	201	253	237	273	312	273	207.9	▲12.7
	う ち、か た く ち い わ し	162	130	132	112	123	122	98	▲39.5	▲19.5
	あ じ 類	377	323	309	279	276	266	228	▲39.5	▲14.0
	さ ば 類	379	440	451	505	447	396	445	17.4	12.3
	さ ん ま 類	231	259	244	251	130	143	122	▲47.2	▲14.6
	ぶ り 類	297	302	321	298	314	245	226	▲23.7	▲7.8
	ひ ら め ・ か れ い 類	286	256	256	233	237	197	178	▲37.8	▲9.4
	た ら 類	230	261	234	225	215	181	193	▲15.9	6.7
	う ち、す け と う だ ら	117	116	100	98	97	76	84	▲28.0	10.5
	ほ っ け	53	43	35	39	31	26	32	▲38.5	24.1
	た い 類	171	151	151	156	152	119	107	▲37.2	▲9.7
	い か 類	824	663	656	551	509	518	432	▲47.6	▲16.7
	う ち、す る め い か	550	391	376	277	267	286	203	▲63.1	▲29.0
	ほ た て が い	429	632	597	556	573	393	718	67.5	82.9
	上 記 以 外 の 魚 種	2,955	3,051	2,976	2,974	2,846	2,381	2,405	▲18.6	1.0

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 生産量は、令和5（2023）年4月30日時点の数値。

2) 平成23（2011）年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県においてデータを消失した調査対象があり、消失したデータを含まない。

2-3 海面養殖業主要魚種別生産量及び生産額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
									令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
生産量	合計	869	1,033	986	1,005	915	970	927	6.7	▲ 4.4
	ぶり類	146	141	139	138	136	138	134	▲ 8.6	▲ 2.8
	まだい	61	67	63	61	62	66	69	13.5	5.3
	ほたてがい	118	215	135	174	144	149	165	38.9	10.4
	かき類	166	159	174	177	162	159	159	▲ 4.3	▲ 0.1
	こんぶ類	25	27	32	34	33	30	32	26.3	4.6
	わかめ類	19	48	51	51	45	54	44	134.5	▲ 18.3
	のり類	292	301	304	284	251	289	237	▲ 18.8	▲ 18.0
	上記以外の魚種	41	76	87	87	81	85	87	114.1	3.2
	合計	3,874 (168)	5,098 (210)	5,250 (271)	5,060 (199)	5,007 (205)	4,549 (191)	4,693 (178)	21.1	3.2
生産額	ぶり類	1,172 (22)	1,206 (28)	1,223 (31)	1,269 (29)	1,323 (35)	1,099 (34)	1,190 (22)	1.5	8.2
	まだい	535 (41)	574 (39)	598 (46)	633 (42)	582 (46)	476 (33)	638 (39)	19.3	33.9
	ほたてがい	334 (76)	732 (107)	614 (157)	520 (95)	388 (93)	340 (98)	464 (87)	38.9	36.6
	かき類	307 (2)	360 (6)	342 (7)	341 (6)	357 (6)	331 (6)	338 (9)	10.0	2.0
	こんぶ類	63 (-)	77 (-)	95 (-)	102 (-)	104 (-)	91 (-)	74 (-)	16.9	▲ 18.9
	わかめ類	30 (0)	103 (0)	108 (0)	102 (1)	122 (1)	107 (1)	82 (1)	178.8	▲ 23.2
	のり類	716 (5)	1,007 (4)	1,172 (5)	949 (5)	947 (5)	1,048 (5)	753 (7)	5.1	▲ 28.2
	上記以外の魚種	717 (22)	1,039 (25)	1,099 (24)	1,143 (22)	1,184 (19)	1,055 (14)	1,154 (14)	60.9	9.4

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 生産量は、令和5（2023）年3月31日時点の数値。

2) 平成23（2011）年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県においてデータを消失した調査対象があり、消失したデータを含まない。

3) 生産量の海藻類は生重量、貝類は殻付き重量である。

4) 海面養殖業の生産額は、種苗の生産額も含む。なお、() 内は、種苗の生産額である。

2-4 内水面漁業・養殖業主要魚種別生産量及び産出額の推移

〔単位〕数量：千t
金額：億円

		平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
									令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
生産量	合計	73	63	62	57	53	51	52	▲ 29.2	1.8
	内水面漁業	34	28	25	27	22	22	19	▲ 44.8	▲ 13.1
	さけ・ます類	12	8	6	8	7	7	5	▲ 54.4	▲ 29.6
	あゆ	3	2	2	2	2	2	2	▲ 39.6	▲ 11.0
	しじみ	9	10	10	10	10	9	9	▲ 2.6	1.2
	上記以外の魚種	10	7	7	7	4	3	3	▲ 73.2	▲ 15.4
	内水面養殖業	39	35	37	30	31	29	33	▲ 15.5	13.0
	ます類	8	8	8	7	7	6	6	▲ 25.3	4.3
	あゆ	5	5	5	4	4	4	4	▲ 27.9	▲ 3.3
	こい	3	3	3	3	3	2	2	▲ 34.1	▲ 8.1
産出額	うなぎ	22	19	21	15	17	17	21	▲ 6.1	23.0
	合計	881	1,091	1,148	1,167	1,190	1,100	1,210	37.4	10.0
	内水面漁業	201	198	198	185	164	165	154	▲ 23.5	▲ 6.6
	さけ・ます類	19	16	14	15	13	16	14	▲ 26.8	▲ 11.6
	あゆ	74	84	87	81	78	74	64	▲ 13.2	▲ 13.5
	しじみ	57	56	58	50	46	51	56	▲ 2.5	9.0
	上記以外の魚種	51	42	39	39	27	24	20	▲ 60.6	▲ 15.6
	内水面養殖業	680	894	949	982	1,027	935	1,056	55.3	13.0
	ます類	69	86	87	87	83	70	78	12.2	10.9
	あゆ	63	69	73	65	62	62	63	▲ 0.7	0.5
額	こい	14	15	14	14	13	10	9	▲ 31.7	▲ 8.3
	うなぎ	502	650	697	670	742	661	758	51.1	14.7
	上記以外の魚種	32	74	78	146	128	131	148	366.7	12.9
	(参考) 種苗生産額	36	47	49	46	30	28	29	▲ 18.2	5.4

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1) 生産量は、令和5（2023）年3月31日時点の数値。

2) 平成23（2011）年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県においてデータを消失した調査対象があり、消失したデータを含まない。

3) 内水面漁業・養殖業生産量は、平成23（2011）年は主要108河川24湖沼、平成28（2015）～30（2018）年は主要112河川24湖沼、令和元（2019）年以降は主要113河川24湖沼の値である。内水面養殖業収獲量は、平成23（2011）～30（2018）年はます類、あゆ、こい及びうなぎの4魚種、令和元（2019）年以降はます類、あゆ、こい、うなぎ及びにしきごいの5魚種である。また、収獲量には、琵琶湖、霞ヶ浦及び北浦において養殖されたその他の収獲量を含む。

4) 内水面養殖業の産出額には、種苗の生産額を含まない。



2-5 漁業・養殖業都道府県別生産量及び産出額（令和3（2021）年）

	生産量（t）									産出額（百万円）			
	合計	海面				内水面				海面			
		計	漁業	養殖業	順位	計	漁業	養殖業	順位	計	漁業	養殖業	順位
全 国	4,214,829	4,163,072	3,236,431	順位	926,641	51,758	18,904	順位	32,854	1,255,995	804,525	順位	451,470
北海道	1,024,318	1,018,914	910,347	1	108,567	5,404	5,310	1	94	256,850	228,710	1	28,140
青 森	149,696	146,751	66,867	13	79,884	2,945	2,887	3	58	44,667	29,172	5	15,495
岩 手	111,034	110,730	79,709	11	31,021	304	123	15	181	29,578	21,695	9	7,883
宮 城	267,660	267,356	184,316	5	83,040	304	99	17	205	65,517	44,338	4	21,179
秋 田	6,195	5,893	5,685	37	208	302	252	10	50	2,474	2,442	35	32
山 形	3,805	3,474	3,474	38	-	331	245	11	86	1,743	1,743	36	-
福 島	63,962	62,828	62,660	15	168	1,134	4	36	1,130	9,515	9,444	23	71
茨 城	x	x	299,686	2	x	3,203	2,382	4	821	22,684	x	...	x
栃 木	1,026	-	...	...	...	1,026	304	7	722	...	...	...	...
群 馬	276	-	...	...	...	276	2	38	274	...	...	...	...
埼 玉	3	-	...	...	...	3	1	39	2	...	...	...	...
千 葉	109,182	109,057	105,505	7	3,552	125	26	27	99	19,628	18,081	12	1,547
東 京	x	x	28,972	21	x	111	74	21	37	10,293	x	...	x
神奈川	26,011	25,730	24,856	22	874	281	245	11	36	13,591	13,153	17	437
新 潟	25,509	25,027	23,706	24	1,321	482	318	6	164	9,964	9,307	24	657
富 山	23,404	23,278	23,253	25	25	126	82	19	44	12,108	12,080	19	28
石 川	46,239	46,214	45,836	19	378	25	12	31	13	13,186	13,030	18	156
福 井	9,819	9,788	9,413	34	375	31	26	27	5	7,523	6,911	26	612
山 梨	935	-	...	...	...	935	5	35	930	...	...	...	...
長 野	1,364	-	...	...	...	1,364	42	23	1,322	...	...	...	...
岐 阜	1,408	-	...	...	...	1,408	271	9	1,137	...	...	...	...
静 岡	254,246	251,671	249,515	3	2,156	2,575	0	41	2,575	51,543	49,282	3	2,261
愛 知	67,812	61,099	52,835	16	8,264	6,713	1	39	6,712	15,491	13,472	16	2,020
三 重	128,375	128,011	107,377	6	20,634	364	54	22	310	39,297	23,730	8	15,567
滋 賀	1,137	-	...	...	...	1,137	788	5	349	...	...	...	...
京 都	9,300	9,272	8,496	35	776	28	17	29	11	4,212	2,850	34	1,362
大 阪	x	18,417	17,980	28	437	x	-	...	x	4,038	3,929	33	109
兵 庫	107,604	107,568	48,232	17	59,336	36	6	34	30	41,228	23,901	7	17,327
奈 良	14	-	...	...	...	14	0	41	14	...	...	...	...
和歌山	22,092	21,478	16,756	29	4,722	614	10	33	604	16,821	6,637	27	10,184
鳥 取	87,323	86,936	85,111	10	1,825	387	283	8	104	19,339	17,942	13	1,397
島 根	93,513	89,250	88,917	9	333	4,263	4,254	2	9	16,219	15,944	14	274
岡 山	23,485	23,184	2,757	39	20,427	301	231	13	70	5,573	1,402	37	4,171
広 島	113,321	113,247	18,104	27	95,143	74	16	30	58	22,989	6,250	28	16,739
山 口	21,465	21,425	20,543	26	882	40	12	31	28	13,273	11,635	20	1,639
徳 島	20,920	20,352	10,971	32	9,381	568	38	24	530	9,722	4,589	30	5,133
香 川	25,497	25,481	10,089	33	15,392	16	-	...	16	14,854	4,422	31	10,432
愛 媛	142,484	142,307	76,625	12	65,682	177	116	16	61	84,964	15,487	15	69,476
高 知	83,744	83,219	63,687	14	19,532	525	126	14	399	46,822	25,134	6	21,688
福 岡	71,096	70,817	23,939	23	46,878	279	80	20	199	28,326	10,923	21	17,403
佐 賀	66,621	66,611	8,139	36	58,472	10	4	36	6	25,190	4,771	29	20,419
長 崎	270,745	270,736	247,359	4	23,377	9	-	...	9	93,607	57,129	2	36,477
熊 本	65,815	65,373	11,836	31	53,537	442	33	26	409	34,200	4,295	32	29,906
大 分	52,666	52,399	29,063	20	23,336	267	91	18	176	35,611	8,917	25	26,695
宮 崎	118,363	114,395	101,029	8	13,366	3,968	35	25	3,933	29,655	20,194	10	9,461
鹿児島	105,989	97,152	47,853	18	49,299	8,837	0	41	8,837	65,846	18,692	11	47,154
沖 縄	x	38,978	14,936	30	24,042	x	-	...	x	17,853	9,918	22	7,935

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び「漁業産出額」

注：1）海面養殖業生産量には種苗養殖は含まない。

2）都道府県別に取りまとめを行っていない捕鯨業は含まない。

〔単位〕 数量：千 t
金額：億円

2) かにについては、このほかにかに調製品が含まれている。

(単位：億円)

資料：財務省「貿易統計」に基づき水産庁で作成

2-10 主要品目別産地価格の推移

(単位：円/kg)

	平成24年 (2012)	29 (2017)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	増減率 (%)	
						令和4/平成24 (2022/2012)	令和4/3 (2022/2021)
水産物平均 (下記加重平均)	162	173	154	149	189	16.7	27.1
まぐろ 生 鮮	2,180	1,899	1,920	-	-	-	-
まぐろ 冷 凍	2,499	1,784	1,659	-	-	-	-
くろまぐろ 生 鮮	-	-	-	2,045	2,574	-	25.9
みなみまぐろ 冷 凍	-	-	-	1,870	2,483	-	32.8
びんなが 生 鮮	301	384	336	362	531	76.4	46.6
びんなが 冷 凍	305	345	288	401	507	66.3	26.5
めばち 生 鮮	1,338	1,339	1,241	1,401	1,743	30.2	24.4
めばち 冷 凍	877	1,149	827	994	1,243	41.7	25.0
きはだ 生 鮮	750	937	845	932	1,154	53.9	23.8
きはだ 冷 凍	419	447	327	513	630	50.3	22.9
かつお 生 鮮	387	378	350	221	405	4.7	83.1
かつお 冷 凍	187	256	189	185	268	43.4	45.0
まいわし	57	49	41	38	45	▲ 21.8	15.8
うるめいわし	54	57	75	61	63	17.3	3.9
かたくちいわし	42	52	51	46	43	4.0	▲ 5.7
まあじ	204	175	229	218	206	1.0	▲ 5.6
むろあじ	108	93	117	95	107	▲ 1.3	12.2
さば類	84	85	109	109	121	44.9	11.3
さんま	77	278	473	621	581	651.2	▲ 6.4
ほっけ	65	152	50	66	60	▲ 8.7	▲ 9.2
するめいか 生 鮮	234	570	561	618	823	252.1	33.2
するめいか 冷 凍	261	618	775	687	1,081	313.8	57.3
うち (冷凍、近海)	263	618	775	-	-	-	-
うち (冷凍、遠洋)	224	-	-	-	-	-	-

資料：水産庁「水産物流通調査」に基づき水産庁で作成

注：1) 特に表示のない品目は、生鮮品・冷凍品の分類を行っていない。

2) 平成24 (2012) 年は211漁港、平成29 (2017) 年は210漁港、令和2 (2020) 年は209漁港、令和3 (2021) 年は147漁港、令和4 (2022) 年は48漁港の価格。

3) 主要品目のうち、平成24 (2012) ～令和2 (2020) 年の「まぐろ」は「くろまぐろ及びみなみまぐろ (いんどまぐろを含む。)」を示していたが、令和3 (2021) 年以降は分類の整理により「くろまぐろ」と「みなみまぐろ」に分別した。

4) 令和4 (2022) 年の価格は概算値。

2-11 魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移

(単位：千 t)

	平成23年度 (2011)	28 (2016)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
						令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
合 計	8,248	7,365	7,192	6,838	6,641	▲19.5	▲2.9
食 用 魚 介 類	6,563	5,848	5,640	5,283	5,165	▲21.3	▲2.2
生 鮮 ・ 冷 凍	2,784	2,180	1,886	1,797	1,691	▲39.3	▲5.9
塩 干 ・ く ん 製 ・ そ の 他	3,466	3,325	3,413	3,161	3,177	▲ 8.3	0.5
か ん 詰	313	343	341	325	297	▲ 5.1	▲8.6
非 食 用 (飼 肥 料)	1,685	1,517	1,552	1,555	1,476	▲12.4	▲5.1
国民1人1年当たり供給純食料 (kg)	28.5	24.8	25.3	23.6	23.2	▲18.6	▲1.7
食 用 魚 介 類 自 給 率 (%)	58	56	55	57	59	2.2	2.8
(参考) 非食用を含む自給率 (%)	52	53	53	55	57	8.2	2.9

資料：農林水産省「食料需給表」

注：1) 自給率 (%) = (国内生産量 ÷ 国内消費仕向量) × 100。

2) 数値は原魚換算したものであり (国民1人1年当たり供給純食料を除く。)、海藻類、捕鯨業により捕獲されたもの及び鯨類科学調査の副産物を含まない。

3) 原魚換算とは、輸入量、輸出量等、製品形態が品目別に異なるものを、製品形態毎に所定の係数により原魚に相当する量に換算したものである。

4) 粗食料とは、廃棄される部分も含んだ食用魚介類の数量であり、純食料とは、粗食料から通常の食習慣において廃棄される部分 (魚の頭、内臓、骨等) を除いた可食部分のみの数量。

5) 令和3 (2021) 年度の数値は概算値。



2-12 1人1年当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）

〔単位〕数量：g
金額：円

		平成24年 (2012)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)	増減率 (%)	
									令和4/平成24 (2022/2012)	令和4/3 (2022/2021)
数	生 鮮 魚 介 計	10,106	8,312	7,874	7,733	8,105	7,838	6,707	▲33.6	▲14.4
	鮮 魚 小 計	9,140	7,556	7,167	7,000	7,316	7,087	6,192	▲32.3	▲12.6
	ま ぐ ろ	725	712	647	650	688	681	555	▲23.5	▲18.5
	あ じ	394	376	313	284	278	265	238	▲39.6	▲10.0
	い わ し	224	244	215	185	196	151	130	▲42.1	▲14.3
	か つ お	299	269	273	298	243	330	268	▲10.6	▲18.8
	か れ い	355	276	239	235	252	234	229	▲35.4	▲ 2.2
	さ け	1,021	835	841	848	962	933	786	▲23.0	▲15.8
	さ ば	407	304	324	291	303	278	243	▲40.2	▲12.5
	さ ん ま	494	308	381	258	149	113	91	▲81.7	▲19.9
	た い	193	178	142	138	189	204	162	▲16.1	▲20.7
	ぶ り	693	629	543	517	589	553	466	▲32.8	▲15.8
	い か	761	411	387	371	414	394	369	▲51.5	▲ 6.3
	た こ	190	234	181	181	219	178	145	▲23.8	▲18.8
	え び	630	449	452	452	498	497	424	▲32.8	▲14.7
	か に	232	147	120	122	133	130	101	▲56.4	▲22.3
	貝 類 小 計	961	749	699	720	772	738	511	▲46.9	▲30.8
	あ さ り	343	285	237	244	252	220	101	▲70.4	▲53.9
	し じ み	113	91	96	103	88	64	61	▲45.7	▲ 4.7
	か き	165	168	157	140	148	177	145	▲12.4	▲18.2
量	ほ た て が い	234	111	132	152	194	191	137	▲41.4	▲28.4
	塩 干 魚 介 計	2,844	2,549	2,331	2,262	2,454	2,258	2,114	▲25.7	▲ 6.4
	塩 さ け	514	476	429	445	485	464	398	▲22.7	▲14.3
	(参考) 生鮮肉計	14,269	16,038	16,459	16,395	18,160	17,825	17,556	23.0	▲ 1.5
	牛 肉	2,199	2,208	2,254	2,201	2,436	2,300	2,131	▲ 3.1	▲ 7.3
	豚 肉	6,115	6,976	7,221	7,131	7,793	7,698	7,662	25.3	▲ 0.5
金	魚 介 類 支 出 計	25,343	25,939	24,834	24,869	26,217	25,609	25,133	▲ 0.8	▲ 1.9
	生 鮮 魚 介 計	14,510	14,647	13,926	13,935	14,783	14,543	13,812	▲ 4.8	▲ 5.0
	鮮 魚 小 計	13,207	13,467	12,805	12,805	13,572	13,346	12,819	▲ 2.9	▲ 3.9
	ま ぐ ろ	1,665	1,845	1,746	1,754	1,837	1,896	1,713	2.8	▲ 9.7
	あ じ	402	438	383	361	363	340	338	▲15.9	▲ 0.7
	い わ し	166	206	184	156	156	132	130	▲21.7	▲ 1.7
	か つ お	453	468	472	486	440	518	504	11.3	▲ 2.6
	か れ い	409	370	324	308	315	303	308	▲24.8	1.4
	さ け	1,386	1,507	1,579	1,622	1,781	1,736	1,719	24.0	▲ 1.0
	さ ば	350	316	328	312	319	288	282	▲19.4	▲ 1.9
	さ ん ま	355	295	372	246	182	152	141	▲60.3	▲ 6.8
	た い	342	368	298	284	381	417	381	11.3	▲ 8.6
	ぶ り	1,066	1,070	969	939	1,049	1,005	934	▲12.4	▲ 7.0
	い か	745	627	594	588	654	626	639	▲14.2	2.2
	た こ	374	478	408	423	502	422	379	1.5	▲10.0
	え び	1,046	1,012	951	962	1,057	1,073	1,005	▲ 3.9	▲ 6.3
	か に	614	583	472	528	584	594	505	▲17.7	▲14.9
	貝 類 小 計	1,304	1,180	1,120	1,130	1,211	1,197	992	▲23.9	▲17.1
	あ さ り	327	298	247	254	264	235	132	▲59.6	▲43.8
額	し じ み	140	133	133	134	124	99	105	▲25.0	5.9
	か き	302	320	294	261	266	295	277	▲ 8.2	▲ 6.1
	ほ た て が い	402	274	316	346	417	421	355	▲11.8	▲15.7
	塩 干 魚 介 計	4,672	4,816	4,589	4,500	4,708	4,483	4,476	▲ 4.2	▲ 0.2
	塩 さ け	631	756	723	735	752	721	742	17.5	2.9
	魚 肉 練 製 品	2,867	2,903	2,763	2,822	2,916	2,915	3,061	6.8	5.0
	他の魚介加工品	3,294	3,573	3,556	3,612	3,810	3,668	3,784	14.9	3.2
	(参考) 生鮮肉計	19,130	24,464	24,671	24,086	27,101	26,699	26,893	40.6	0.7
	牛 肉	5,931	7,369	7,339	7,131	8,025	7,922	7,682	29.5	▲ 3.0
	豚 肉	7,743	10,077	10,266	9,979	11,139	10,885	11,164	44.2	2.6

資料：総務省「家計調査」に基づき水産庁で作成

注：1) 対象は二人以上の世帯。

2) 平成30（2018）年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を含むため、時系列比較をする際には注意が必要。

3 国 際

3-1 世界の漁業・養殖業生産量の推移

(単位：万 t)

国名	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	令和2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
									令和3/平成12 (2021/2000)	令和3/2 (2021/2020)
世界計	3,687	6,756	7,598	10,319	13,770	16,624	21,343	21,847	58.7	2.4
漁業	3,476	6,385	6,819	8,591	9,468	8,825	9,072	9,244	▲ 2.4	1.9
養殖業	211	371	779	1,728	4,302	7,800	12,271	12,603	193.0	2.7
中国	317	397	625	1,511	4,457	6,284	8,393	8,595	92.8	2.4
漁業	222	249	315	671	1,482	1,505	1,345	1,314	▲11.3	▲ 2.3
養殖業	96	148	311	839	2,975	4,779	7,048	7,281	144.7	3.3
インドネシア	76	126	188	324	515	1,167	2,179	2,181	323.3	0.1
漁業	68	115	165	264	416	539	694	720	73.2	3.8
養殖業	8	11	23	60	99	628	1,485	1,461	1,369.9	▲ 1.6
インド	116	176	245	388	567	851	1,330	1,443	154.6	8.5
漁業	112	164	208	286	373	472	466	502	34.8	7.9
養殖業	4	12	37	102	194	379	864	941	384.3	8.9
ベトナム	47	62	56	94	214	495	819	829	286.8	1.2
漁業	44	55	46	78	163	225	351	354	117.2	1.0
養殖業	4	7	10	16	51	270	468	475	824.9	1.4
ペルー	350	1,248	271	687	1,067	439	582	673	▲36.9	15.6
漁業	350	1,248	271	687	1,066	431	568	658	▲38.3	15.8
養殖業	0	0	0	1	1	9	14	15	2,186.5	4.9
EU・英国	582	822	853	911	825	677	594	574	▲30.5	▲ 3.4
漁業	556	775	781	807	685	550	462	436	▲36.4	▲ 5.7
養殖業	26	47	72	104	141	127	132	138	▲ 1.9	4.7
ロシア	...	...	...	766	410	420	537	549	33.7	2.1
漁業	...	...	...	740	403	408	508	517	28.3	1.7
養殖業	...	...	...	26	8	12	29	32	314.0	9.7
米国	282	296	387	594	525	489	472	473	▲ 9.8	0.3
漁業	271	279	370	562	479	440	427	428	▲10.6	0.3
養殖業	10	17	17	32	46	50	45	45	▲ 1.8	0.0
バングラデシュ	40	69	65	85	166	304	450	462	178.2	2.6
漁業	35	63	56	65	100	173	192	198	97.4	3.3
養殖業	5	6	9	19	66	131	258	264	301.6	2.1
フィリピン	50	110	172	252	302	505	424	411	36.2	▲ 2.9
漁業	44	100	138	185	192	250	191	184	▲ 4.1	▲ 3.8
養殖業	6	10	33	67	110	255	232	227	106.4	▲ 2.2
日本	619	931	1,112	1,105	638	531	424	421	▲34.0	▲ 0.5
漁業	589	872	1,004	968	509	416	324	326	▲36.1	0.6
養殖業	30	60	109	137	129	115	100	96	▲25.7	▲ 3.9
ノルウェー	139	298	254	195	338	386	412	422	24.8	2.5
漁業	139	298	253	180	289	284	263	256	▲11.6	▲ 2.7
養殖業	0	0	1	15	49	102	149	167	238.9	11.7

資料：FAO「Fishstat (Global capture production、Global aquaculture production)」(日本以外)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)に基づき水産庁で作成



3-2 食用魚介類供給量の推移

(1) 主要国別供給量の推移

(単位：万t)

	昭和36年 (1961)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	30 (2018)	令和元 (2019)	増減率 (%)	
									令和元/昭和36 (2019/1961)	令和元/30 (2019/2018)
世界	2,749	3,968	5,053	7,121	9,637	12,771	15,491	15,857	476.8	2.4
中国	284	313	433	1,220	3,117	4,376	5,582	5,747	1,926.9	3.0
インドネシア	93	119	176	267	431	676	1,157	1,215	1,200.8	5.0
E U ・ 英国	562	711	722	900	1,016	1,174	1,168	1,173	108.5	0.4
インド	85	156	217	326	466	690	1,021	1,102	1,194.5	7.9
米国	247	304	358	558	627	668	746	754	206.0	1.2
日本	476	636	767	880	853	677	565	562	18.2	▲ 0.4
その他	1,002	1,730	2,381	2,971	3,127	4,511	5,253	5,303	429.1	1.0

資料：FAO「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」(日本以外)及び農林水産省「食料需給表」(日本)に基づき水産庁で作成

注：1) 中国は香港、マカオ及び台湾を除く数値。

2) 「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」の数値は令和5(2023)年4月1日時点。

(2) 国民1人1年当たりの供給量の推移

(単位：kg/人年)

	昭和36年 (1961)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	令和元 (2019)	2 (2020)	増減率 (%)	
									令和2/昭和36 (2020/1961)	令和2/元 (2020/2019)
世界平均	9.0	10.9	11.5	13.6	16.0	18.6	20.7	20.5	127.2	▲ 1.1
インドネシア	10.3	10.4	12.1	14.9	20.6	28.0	44.9	44.4	332.3	▲ 1.0
日本	50.4	61.3	65.5	71.2	67.2	52.8	44.4	41.9	▲ 16.9	▲ 5.6
中国	4.3	3.8	4.4	10.5	24.4	32.0	40.1	39.9	830.8	▲ 0.4
米国	13.0	14.5	15.5	21.9	22.0	21.4	22.9	22.8	75.0	▲ 0.6
E U ・ 英国	14.6	17.2	16.6	20.1	20.8	23.2	22.9	22.8	56.9	▲ 0.1
インド	1.9	2.8	3.1	3.8	4.5	5.6	8.1	8.0	329.0	▲ 1.0

資料：FAO「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」(日本以外)及び農林水産省「食料需給表」(日本)に基づき水産庁で作成

注：1) 中国は香港、マカオ及び台湾を除く数値。

2) 「FAOSTAT (Food Balance Sheets)」の数値は令和5(2023)年4月1日時点。

3-3 マグロ類に関する情報

(1) 国・地域別漁獲量

(単位：t)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	令和2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
									令和3/昭和35 (2021/1960)	令和3/2 (2021/2020)
インドネシア	2,837	7,172	27,827	82,308	199,616	150,403	323,477	343,393	12,004.1	6.2
E U ・ 英国	78,047	83,381	156,869	288,523	269,713	183,979	185,154	198,654	154.5	7.3
日本	381,365	278,944	361,340	277,518	275,474	207,094	176,236	147,899	▲ 61.2	▲ 16.1
台湾	8,200	95,664	109,618	191,111	238,410	169,283	138,136	132,031	1,510.1	▲ 4.4
メキシコ	3,500	7,000	21,118	118,114	105,708	109,319	110,963	119,802	3,322.9	8.0
フィリピン	13,579	31,836	47,298	99,742	116,334	116,734	94,861	86,792	539.2	▲ 8.5
その他	151,116	253,299	346,873	510,914	811,547	925,260	1,237,269	1,172,884	676.1	▲ 5.2
合計	638,644	757,296	1,070,943	1,568,230	2,016,802	1,862,072	2,266,096	2,201,456	244.7	▲ 2.9

資料：FAO「Fishstat (Global capture production)」(日本以外)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)に基づき水産庁で作成

注：我が国のミナミマグロは、平成7(1995)年にクロマグロから分離された。平成6(1994)年まではクロマグロの漁獲量に含まれる。

(2) 魚種別漁獲量

(単位：t)

	昭和35年 (1960)	45 (1970)	55 (1980)	平成2 (1990)	12 (2000)	22 (2010)	令和2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
									令和3/昭和35 (2021/1960)	令和3/2 (2021/2020)
キハダ	296,867	367,925	564,301	1,021,906	1,255,365	1,218,796	1,595,547	1,565,564	427.4	▲ 1.9
メバチ	81,032	146,851	232,737	270,565	469,967	362,979	375,850	356,029	339.4	▲ 5.3
ビンナガ	161,276	169,953	195,189	230,667	220,196	240,071	235,666	213,944	32.7	▲ 9.2
クロマグロ	95,924	64,980	67,309	39,578	55,630	29,868	43,073	48,964	▲ 49.0	13.7
ミナミマグロ	3,545	7,587	11,407	5,514	15,644	10,358	15,961	16,954	378.3	6.2
合 計	638,644	757,296	1,070,943	1,568,230	2,016,802	1,862,072	2,266,096	2,201,456	244.7	▲ 2.9

資料：FAO「Fishstat (Global capture production)」(日本以外)及び農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(日本)に基づき水産庁で作成
注：我が国のミナミマグロは、平成7(1995)年にクロマグロから分離された。平成6(1994)年まではクロマグロの漁獲量に含まれる。

(3) 我が国への供給量の推移

(単位：万t)

	平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
								令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
国内供給量 計	37.8	39.0	38.1	36.5	35.6	37.2	34.0	▲10.2	▲ 8.7
国内生産量	20.0	18.1	18.4	18.2	18.0	19.4	16.9	▲15.4	▲12.9
輸 入 量	17.8	21.0	19.7	18.3	17.7	17.8	17.0	▲ 4.2	▲ 4.1

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び財務省「貿易統計」に基づき水産庁で作成
注：1) 平成23(2011)年の国内生産量は、海面養殖業のくろまぐろを含まない。
2) 数値はクロマグロ、ミナミマグロ、キハダ、メバチ及びビンナガの合計値。
3) 輸入量は、生鮮冷蔵・冷凍の製品重量。



4 漁業経営・生産構造

4-1 漁業経営体数の推移

(単位：経営体)

		平成10年 (1998)	15 (2003)	20 (2008)	25 (2013)	30 (2018)	増減率 (%)	
							平成30/10 (2018/1998)	平成30/25 (2018/2013)
合 計		150,586	132,417	115,196	94,507	79,067	▲47.5	▲16.3
海 面 漁 業	計	122,980	109,350	95,550	79,563	65,117	▲47.1	▲18.2
	漁船非使用	4,365	3,883	3,694	3,032	2,595	▲40.5	▲14.4
	無動力漁船	285	198	157	97	47	▲83.5	▲51.5
	船外機付漁船	...	...	24,161	20,709	17,364	...	▲16.2
	動力漁船計	111,999	99,692	62,877	51,606	41,875	▲62.6	▲18.9
	1 トン未満	34,460	30,951	3,448	2,770	2,002	▲94.2	▲27.7
	1～3	26,255	22,254	18,077	14,109	10,652	▲59.4	▲24.5
	3～5	32,169	29,010	25,628	21,080	16,810	▲47.7	▲20.3
	5～10	11,207	10,494	9,550	8,247	7,495	▲33.1	▲ 9.1
	10～20	5,071	4,602	4,200	3,643	3,339	▲34.2	▲ 8.3
	20～30	769	661	610	559	494	▲35.8	▲11.6
	30～50	561	537	485	466	430	▲23.4	▲ 7.7
	50～100	555	455	351	293	252	▲54.6	▲14.0
	100～200	380	313	275	252	233	▲38.7	▲ 7.5
	200～500	283	197	115	76	64	▲77.4	▲15.8
	500～1,000	150	107	67	55	50	▲66.7	▲ 9.1
	1,000～3,000	131	104	68	53	52	▲60.3	▲ 1.9
	3,000トン以上	8	7	3	3	2	▲75.0	▲33.3
	大型定置網	1,068	969	1,086	1,252	943	▲11.7	▲24.7
	小型定置網	5,042	4,457	3,575	2,867	2,293	▲54.5	▲20.0
	地びき網	221	151	...	...	...	...	...
海 面 養 殖 業	計	27,606	23,067	19,646	14,944	13,950	▲49.5	▲ 6.7
	のり	7,733	6,065	4,868	3,819	3,214	▲58.4	▲15.8
	かき	3,352	3,308	2,879	2,018	2,067	▲38.3	▲ 2.4
	真珠	1,699	1,358	971	680	594	▲65.0	▲12.6
	真珠母貝	1,143	683	448	276	248	▲78.3	▲10.1
	わかめ	3,205	2,383	2,356	2,029	1,835	▲42.7	▲ 9.6
	ぶり	1,284	1,023	839	632	520	▲59.5	▲17.7
	ほたてがい	4,363	3,859	3,411	2,466	2,496	▲42.8	▲ 1.2
	まだい	1,258	1,009	753	535	445	▲64.6	▲16.8
	まぐろ類	...	...	39	63	69	...	9.5
	その他	3,569	3,379	3,082	2,426	2,462	▲31.0	▲ 1.5
沿岸漁業経営体計		142,678	125,434	109,022	89,107	74,151	▲48.0	▲16.8
中小漁業経営体計		7,769	6,872	6,103	5,344	4,862	▲37.4	▲ 9.0
大規模漁業経営体計		139	111	71	56	54	▲61.2	▲ 3.6

資料：農林水産省「漁業センサス」

注：1) 漁業経営体とは、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいう（ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く。）。

2) 大型定置網には、さけ定置網を含める。

3) 沿岸漁業経営体とは、漁船非使用、無動力漁船、船外機付漁船、使用動力漁船10トン未満、定置網、地びき網及び海面養殖業の漁業経営体をいい、中小漁業経営体とは、使用動力漁船10トン以上1,000トン未満の漁業経営体をいい、大規模漁業経営体とは、使用動力漁船1,000トン以上の漁業経営体をいう。

4) 平成15（2003）年以前については、船外機付漁船は1 トン未満の動力漁船に含まれ、海面養殖業のまぐろ類はその他に含まれる。

5) 平成20（2008）年以降については、地びき網は経営体階層から除外し、使用した漁船の種類及び動力漁船のトン数から判断し振り分け、海面養殖におけるまぐろ類はその他から分離した（平成30（2018）年にまぐろ類からくろまぐろに名称を変更。）。

4-2 経営組織別漁業経営体数の推移

(単位：経営体)

	平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
								令和3/平成23 (2021/2011)	令和3/2 (2021/2020)
計	91,170	81,880	78,890	79,067	73,270	69,560	64,900	▲28.8	▲6.7
個人経営体	86,150	77,370	74,470	74,526	68,900	65,310	60,790	▲29.4	▲6.9
団体経営体	5,020	4,500	4,420	4,541	4,370	4,250	4,110	▲18.1	▲3.3
会社	…	…	…	2,548	…	…	…	…	…
漁業協同組合	…	…	…	163	…	…	…	…	…
漁業生産組合	…	…	…	94	…	…	…	…	…
共同経営	…	…	…	1,700	…	…	…	…	…
その他	…	…	…	36	…	…	…	…	…

資料：農林水産省「漁業センサス」（平成30（2018）年）、「漁業就業動向調査」（平成23（2011）～29（2017）年）及び「漁業構造動態調査」（それ以外の年）

- 注：1）漁業経営体とは、4-1の注1）に同じ。
2）漁業協同組合には、漁業協同組合と漁業協同組合の支所等を含む。
3）平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く値。

4-3 沿岸漁家の漁労所得の推移

(単位：万円)

	平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
沿岸漁家平均	242.2	338.3	347.8	272.6	216.0	177.1	178.4
沿岸漁船漁家	203.9	234.9	218.7	186.4	168.9	112.4	114.1
海面養殖業漁家	422.7	1,003.6	1,165.5	763.1	490.7	526.9	496.0

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

- 注：1）沿岸漁家平均は、「漁業経営統計調査」の個人経営体調査の結果を基に、「漁業センサス」の個人経営体の船外機付漁船及び10トン未満の動力漁船を用いる漁業、小型定置網漁業並びに海面養殖業の経営体数の比に応じて加重平均した。
2）沿岸漁船漁家は、「漁業経営統計調査」の個人経営体調査の漁船漁業の結果を基に、「漁業センサス」の個人経営体の船外機付漁船及び10トン未満の動力漁船を用いる経営体数で加重平均した。
3）海面養殖業漁家は、「漁業経営統計調査」の個人経営体調査の結果を基に、「漁業センサス」の養殖種類ごとの経営体数で加重平均した。
4）東日本大震災により漁業が行えなかったこと等から、平成23（2011）年は岩手県、宮城県及び福島県の経営体、平成28（2016）～令和2（2020）年は福島県の漁船漁業の経営体を除く値。
5）平成28（2016）年調査において、調査体系の見直しが行われたため、平成28（2016）年以降海面養殖業漁家からわかめ類養殖と真珠養殖が除かれている。
6）制度受取金等（漁業）を含めていない。

4-4 沿岸漁船漁家の漁業経営状況の推移

(単位：千円)

	平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
漁 労 収 入	6,087	6,321	6,168	5,794	5,664	5,121	5,412
漁 労 支 出	4,048 (100.0)	3,973 (100.0)	3,981 (100.0)	3,930 (100.0)	3,975 (100.0)	3,997 (100.0)	4,271 (100.0)
雇用労賃	504 (12.4)	494 (12.4)	581 (14.6)	557 (14.2)	532 (13.4)	499 (12.5)	531 (12.4)
漁船・漁具費	299 (7.4)	289 (7.3)	284 (7.1)	298 (7.6)	311 (7.8)	345 (8.6)	339 (7.9)
修繕費	309 (7.6)	396 (10.0)	342 (8.6)	350 (8.9)	326 (8.2)	355 (8.9)	397 (9.3)
油 費	770 (19.0)	601 (15.1)	620 (15.6)	675 (17.2)	693 (17.4)	575 (14.4)	668 (15.6)
販売手数料	357 (8.8)	432 (10.9)	409 (10.3)	382 (9.7)	382 (9.6)	365 (9.1)	375 (8.8)
減価償却費	638 (15.8)	568 (14.3)	586 (14.7)	541 (13.8)	570 (14.3)	645 (16.1)	678 (15.9)
その他	1,171 (28.9)	1,193 (30.0)	1,159 (29.1)	1,127 (28.7)	1,161 (29.2)	1,213 (30.3)	1,282 (30.0)
漁 労 所 得	2,039	2,349	2,187	1,864	1,689	1,124	1,141
漁労外事業所得	172	181	204	183	186	223	196
事 業 所 得	2,210	2,530	2,391	2,047	1,875	1,347	1,338

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

- 注：1）「漁業経営統計調査」の個人経営体調査の漁船漁業の結果を基に、「漁業センサス」の個人経営体の船外機付漁船及び10トン未満の動力漁船を用いる経営体数で加重平均した。（ ）内は漁労支出の構成割合（%）である。
2）「漁労外事業所得」とは、漁労外事業収入から漁労外事業支出を差し引いたものである。漁労外事業収入は、漁業経営以外に経営体が兼営する水産加工業、遊漁船業、民宿及び農業等の事業によって得られた収入のほか、漁業用生産手段の一時賃貸料のような漁業経営にとって付随的な収入を含んでおり、漁労外事業支出はこれらに係る経費である。
3）東日本大震災により漁業が行えなかったこと等から、平成23（2011）年は岩手県、宮城県及び福島県、平成28（2016）～令和2（2020）年は福島県の経営体を除く結果である。
4）漁家の所得には、事業所得のほか、漁業世帯構成員の事業外の給与所得や年金等の事業外所得が加わる。
5）漁労収入には、制度受取金等（漁業）を含めていない。



4-5 沿岸漁船以外の漁家（漁船漁業）の漁業経営状況の推移

(単位：千円)

	23 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
漁 労 収 入	39,032	40,780	38,192	35,582	33,371	32,445	30,818
漁 労 支 出	35,113 (100.0)	33,049 (100.0)	31,343 (100.0)	30,777 (100.0)	29,200 (100.0)	29,145 (100.0)	28,133 (100.0)
雇 用 労 賃	10,298 (29.3)	9,823 (29.7)	9,338 (29.8)	8,582 (27.9)	7,514 (25.7)	7,301 (25.1)	7,307 (26.0)
漁船・漁具費	1,701 (4.8)	2,049 (6.2)	1,865 (6.0)	1,851 (6.0)	1,981 (6.8)	2,251 (7.7)	1,813 (6.4)
修 繕 費	2,297 (6.5)	2,797 (8.5)	2,424 (7.7)	2,266 (7.4)	2,101 (7.2)	2,236 (7.7)	2,049 (7.3)
油 費	6,240 (17.8)	4,582 (13.9)	4,742 (15.1)	5,488 (17.8)	5,052 (17.3)	4,479 (15.4)	4,764 (16.9)
販売手数料	2,121 (6.0)	2,330 (7.1)	2,123 (6.8)	1,928 (6.3)	1,863 (6.4)	1,977 (6.8)	1,796 (6.4)
減価償却費	3,493 (9.9)	2,551 (7.7)	2,326 (7.4)	2,402 (7.8)	2,430 (8.3)	2,517 (8.6)	2,713 (9.6)
そ の 他	8,962 (25.5)	8,917 (27.0)	8,526 (27.2)	8,260 (26.8)	8,260 (28.3)	8,385 (28.8)	7,691 (27.3)
漁 労 所 得	3,920	7,731	6,849	4,805	4,170	3,300	2,686
漁労外事業所得	46	207	775	300	469	400	337
事 業 所 得	3,966	7,939	7,624	5,105	4,639	3,701	3,023

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

- 注：1) 「漁業経営統計調査」の個人経営体調査の漁船漁業の結果を基に、「漁業センサス」の個人経営体の10トン以上の動力漁船を用いる経営体数で加重平均した。() 内は漁労支出の構成割合(%)である。
- 2) 「漁労外事業所得」とは、漁労外事業収入から漁労外事業支出を差し引いたものである。漁労外事業収入は、漁業経営以外に経営体が兼営する水産加工業、遊漁船業、民宿及び農業等の事業によって得られた収入のほか、漁業用生産手段の一時賃貸料のような漁業経営にとって付随的な収入を含んでおり、漁労外事業支出はこれらに係る経費である。
- 3) 東日本大震災により漁業が行えなかったこと等から、平成23(2011)年は岩手県、宮城県及び福島県、平成28(2016)～令和2(2020)年は福島県の経営体を除く結果である。
- 4) 漁家の所得には、事業所得のほか、漁業世帯構成員の事業外の給与所得や年金等の事業外所得が加わる。
- 5) 漁労収入には、制度受取金等(漁業)を含めていない。

4-6 海面養殖業漁家の経営状況の推移

(単位：千円)

	23 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
漁 労 収 入	24,048	32,928	36,629	32,506	30,336	30,891	31,765
漁 労 支 出	19,821 (100.0)	22,892 (100.0)	24,974 (100.0)	24,875 (100.0)	25,429 (100.0)	25,622 (100.0)	26,806 (100.0)
雇 用 労 賃	3,243 (16.4)	2,647 (11.6)	2,936 (11.8)	3,331 (13.4)	3,615 (14.2)	3,741 (14.6)	3,860 (14.4)
油 費	1,160 (5.9)	1,002 (4.4)	1,202 (4.8)	1,317 (5.3)	1,278 (5.0)	1,253 (4.9)	1,472 (5.5)
販売手数料	659 (3.3)	1,220 (5.3)	1,258 (5.0)	1,157 (4.7)	987 (3.9)	1,079 (4.2)	1,357 (5.1)
減価償却費	2,313 (11.7)	2,681 (11.7)	2,813 (11.3)	2,874 (11.6)	3,324 (13.1)	3,395 (13.3)	3,645 (13.6)
そ の 他	12,446 (62.8)	15,342 (67.0)	16,765 (67.1)	16,195 (65.1)	16,225 (63.8)	16,155 (63.1)	16,470 (61.4)
漁 労 所 得	4,227	10,036	11,655	7,631	4,907	5,269	4,960

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」及び「漁業センサス」に基づき水産庁で作成

- 注：1) 「漁業経営統計調査」の個人経営体調査の結果を基に、「漁業センサス」の養殖種類ごとの経営体数で加重平均した。() 内は漁労支出の構成割合(%)である。
- 2) 平成28(2016)年調査において、調査体系の見直しが行われたため、平成28(2016)年以降海面養殖業漁家からわかめ類養殖と真珠養殖が除かれている。
- 3) 漁労収入には、制度受取金等(漁業)を含めていない。

4-7 会社経営体（漁船漁業）の漁労収益の状況（令和3（2021）年度）

（単位：千円）

	漁労収入 (漁労売上高)	漁労支出				漁労利益		経常 利益	売上利益率(%)	
		合計	雇用労賃 (労務費)	油費	減価償却費	減価 償却前	減価 償却後		減価 償却前	減価 償却後
平均	273,225	329,340	101,491 (30.8)	45,402 (13.8)	36,080 (11.0)	▲ 20,035	▲ 56,115	7,611	▲ 7.3	▲20.5
10～20トン未満	50,092	59,749	19,358 (32.4)	7,550 (12.6)	4,412 (7.4)	▲ 5,245	▲ 9,657	1,797	▲10.5	▲19.3
20～50トン未満	51,760	82,515	24,300 (29.4)	10,025 (12.1)	8,949 (10.8)	▲ 21,806	▲ 30,755	3,083	▲42.1	▲59.4
50～100トン未満	122,173	136,309	47,440 (34.8)	15,022 (11.0)	9,763 (7.2)	▲ 4,373	▲ 14,136	7,953	▲ 3.6	▲11.6
100～200トン未満	288,539	326,251	109,265 (33.5)	44,337 (13.6)	25,125 (7.7)	▲ 12,587	▲ 37,712	6,132	▲ 4.4	▲13.1
200～500トン未満	563,640	610,957	196,906 (32.2)	107,853 (17.7)	52,551 (8.6)	5,234	▲ 47,317	9,482	0.9	▲ 8.4
500トン以上	1,660,598	2,061,741	596,585 (28.9)	287,401 (13.9)	269,981 (13.1)	▲131,162	▲401,143	37,797	▲ 7.9	▲24.2

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」に基づき水産庁で作成

注：1）トン数階層は、経営体が使用した動力漁船の合計トン数である。

2）漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

3）漁労利益＝漁労収入－漁労支出

4）売上利益率＝（漁労利益÷漁労収入）×100

5）表頭の（ ）内は、単位を除き、「漁業経営統計調査」の会社経営体調査の項目名である。

6）表中の（ ）内は、漁労支出の構成割合（％）である。

4-8 会社経営体（漁船漁業）の収益状況の推移

（単位：千円）

項 目		平成23年度 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
規模	使用動力船総トン数(トン)	210.1	218.9	223.1	219.9	218.2	223.1	221.3
	最盛期の従事者数(人)	19.5	19.6	20.0	19.4	19.2	19.2	19.0
	漁獲量(t)	1,537	1,781	1,883	2,048	1,846	1,879	1,753
漁業損益	漁労収入(漁労売上高)	274,316	337,238	368,187	331,956	295,549	292,934	273,225
	漁労支出	283,548	354,546	378,576	359,622	329,994	335,051	329,340
	雇用労賃(労務費)	85,477	114,969	121,838	111,054	101,204	102,874	101,491
	漁船・漁具費	11,287	23,187	28,520	21,398	17,046	17,146	16,994
	油 費	57,843	43,119	47,110	54,639	54,110	46,433	45,402
	販売手数料	11,654	14,073	15,143	14,011	13,859	13,497	12,468
	その他の漁労支出	92,846	120,837	128,843	124,707	110,956	116,457	116,905
	減価償却費	24,441	38,361	37,122	33,813	32,819	38,644	36,080
	漁労利益	▲9,232	▲17,308	▲10,389	▲27,666	▲34,445	▲42,117	▲56,115
	経常利益	7,919	20,441	24,020	13,206	2,926	3,929	7,611
分析指標	償却前経常利益	32,360	58,802	61,142	47,019	35,745	42,573	43,691
	売上高償却前利益率(%)	11.8	17.4	16.6	14.2	12.1	14.5	16.0
	1人当たり労賃	4,383	5,866	6,092	5,724	5,271	5,358	5,342
	1人当たり売上高	14,067	17,206	18,409	17,111	15,393	15,257	14,380

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」に基づき水産庁で作成

注：1）漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

2）漁労利益＝漁労収入－漁労支出

3）経常利益＝漁労利益＋漁労売上高－（漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費）＋営業外収益－営業外費用

4）償却前経常利益＝経常利益＋減価償却費

5）売上高償却前利益率＝（償却前経常利益÷漁労収入）×100

6）1人当たり労賃＝雇用労賃÷最盛期の従事者数

7）1人当たり売上高＝漁労収入÷最盛期の従事者数

8）（ ）内は、単位及び年度を除き、「漁業経営統計調査」の項目名。



4-9 会社経営体（漁船漁業）の財務状況等の推移

項 目	平成23年度 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
経常利益 (千円)	7,919	20,441	24,020	13,206	2,926	3,929	7,611
売上高経常利益率 (%)	2.4	4.9	5.4	3.2	0.8	1.1	2.0
総資本経常利益率 (%)	2.3	4.7	5.2	2.9	0.6	0.8	1.6
総資本回転率 (回)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7
総資産（負債・純資産）(千円)	351,498	433,649	465,734	460,084	456,071	470,076	483,563
固定資産 (千円)	175,259	223,856	230,942	230,528	236,018	243,268	261,215
流動資産 (千円)	173,171	208,710	234,051	228,726	218,994	225,773	221,617
負債 (千円)	356,011	315,965	333,497	330,001	332,280	355,651	372,699
固定負債 (千円)	192,367	174,295	167,212	180,258	193,107	211,787	220,260
流動負債 (千円)	163,644	141,670	166,285	149,743	139,173	143,864	152,439
自己資本 (千円)	▲4,513	117,684	132,237	130,083	123,791	114,425	110,864
固定資産比率 (%)	49.9	51.6	49.6	50.1	51.8	51.8	54.0
固定比率 (%)	▲3,883.4	190.2	174.6	177.2	190.7	212.6	235.6
流動比率 (%)	105.8	147.3	140.8	152.7	157.4	156.9	145.4
自己資本比率 (%)	▲1.3	27.1	28.4	28.3	27.1	24.3	22.9
漁業部門	漁労収入（漁労売上高）(千円)	274,316	337,238	368,187	331,956	295,549	273,225
	漁労支出 (千円)	283,548	354,546	378,576	359,622	329,994	329,340
	最盛期の従事者数 (人)	19.5	19.6	20.0	19.4	19.2	19.0
	1人当たり売上高 (千円)	14,067	17,206	18,409	17,111	15,393	14,380
	漁労利益 (千円)	▲9,232	▲17,308	▲10,389	▲27,666	▲34,445	▲56,115
	売上利益率 (%)	▲3.4	▲5.1	▲2.8	▲8.3	▲11.7	▲20.5
	付加価値生産性 (千円)	6,960	8,858	9,751	8,329	7,242	6,098
	付加価値率 (%)	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.2

資料：農林水産省「漁業経営統計調査」に基づき水産庁で作成

注：1) 経常利益＝漁労利益＋漁労売上高－（漁労売上原価＋漁労外販売費及び一般管理費）＋営業外収益－営業外費用

2) 売上高経常利益率＝（経常利益÷事業収入）×100

3) 総資本経常利益率＝（経常利益÷負債・純資産合計）×100

4) 総資本回転率＝売上高合計÷負債・純資産合計

5) 固定資産比率＝（固定資産÷負債・純資産合計）×100

6) 固定比率＝（固定資産÷自己資本）×100

7) 流動比率＝（流動資産÷流動負債）×100

8) 自己資本比率＝（自己資本÷負債・純資産合計）×100

9) 漁労支出＝漁労売上原価＋漁労販売費及び一般管理費

10) 1人当たり売上高＝漁労収入÷最盛期の従事者数

11) 漁労利益＝漁労売上高－漁労支出

12) 売上利益率＝（漁労利益÷漁労売上高）×100

13) 付加価値生産性＝（漁労売上高－物的経費）÷最盛期の従業者数

14) 付加価値率＝（付加価値生産性÷漁労売上高）×100

15) () 内は、単位及び年度を除き、漁業経営調査報告の項目名。

4-10 漁協（沿海地区出資漁協）の事業規模（全国）の推移

（単位：億円）

項 目	平成23年度 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
信用							
貯 金 総 額	8,894	7,921	7,890	7,758	7,634	7,518	8,006
貸 付 総 額	2,051	1,459	1,412	1,354	1,326	1,280	1,145
購買							
供 給 取 扱 高	1,989	1,660	1,656	1,743	1,648	1,496	1,682
うち 石 油 類	1,030	697	770	864	774	647	795
うち 資 材 類	868	822	741	732	728	776	787
うち 生 活 用 品	92	141	144	146	146	72	100
販 売	9,630	11,087	11,064	10,326	9,597	8,545	8,907
共済							
長期共済契約保有高	26,930	24,216	23,673	23,083	22,539	22,038	21,334
短期共済掛金	45	41	41	40	39	39	39

資料：水産庁「水産業協同組合統計表」及び全国共済水産業協同組合連合会調べ

注：共済の長期契約保有高は普通厚生共済、生活総合共済及び漁業者老齢福祉共済の保障共済金額の合計。また、短期共済掛金は乗組員厚生共済、団体信用厚生共済及び火災共済の受入共済掛金の合計。

4-11 沿岸・沖合・遠洋漁業別就業者数の推移

(単位：人)

	平成23年 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)	増減率 (%)	
								令和3/平成23年 (2021/2011)	令和3/2年 (2021/2020)
計	177,870	160,020	153,490	151,701	144,740	135,660	129,320	▲ 27.3	▲ 4.7
自家漁業のみ (うち女性)	111,960 (21,670)	95,740 (16,980)	91,950 (16,640)	86,943 (14,011)	80,290 (13,500)	75,810 (12,310)	71,830 (11,880)	▲ 35.8 ▲(45.2)	▲ 5.2 ▲ (3.5)
うち 沿岸漁業就業者 (うち女性)	109,000 (21,570)	92,370 (16,850)	88,670 (16,540)	84,122 (13,802)	78,520 (13,470)	73,980 (12,260)	70,000 (11,840)	▲ 35.8 ▲(45.1)	▲ 5.4 ▲ (3.4)
うち沖合・ 遠洋漁業就業者 (うち女性)	2,960 (110)	3,370 (130)	3,280 (100)	2,821 (209)	1,770 (30)	1,840 (40)	1,830 (40)	▲ 38.2 ▲(63.6)	▲ 0.5 (0.0)
漁業雇われ (うち女性)	65,910 (3,540)	64,280 (3,550)	61,530 (4,340)	64,758 (3,504)	64,450 (3,690)	59,850 (3,220)	57,500 (2,520)	▲ 12.8 ▲(28.8)	▲ 3.9 ▲(21.7)

資料：農林水産省「漁業センサス」(平成30(2018)年)、「漁業就業動向調査」(平成23(2011)年、28(2016)年～29(2017)年)及び「漁業構造動態調査」(組替集計)(令和元(2019)年以降)

- 注：1) 漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者をいう。
2) 自家漁業のみとは、漁業就業者のうち、自家漁業のみに従事し、共同経営の漁業又は雇われての漁業には従事していない者をいう(漁業以外の仕事に従事したか否かは問わない)。
3) 漁業雇われとは、漁業就業者のうち、「個人経営体の自家漁業のみ」以外の者をいう(漁業以外の仕事に従事したか否かは問わない)。
4) 沿岸漁業就業者とは、漁船非使用漁業、10トン未満の漁船(無動力漁船及び船外機付漁船を含む。)を使用する漁業、定置網漁業及び海面養殖業に従事した漁業就業者をいう。また、2018年漁業センサスにおいて調査体系の見直しが行われたため、平成30(2018)年以降の沿岸漁業就業者は、漁船非使用漁業、使用した漁船(無動力漁船及び船外機付漁船を含む。)の最も大きなものが10トン未満であった漁業経営体に属する就業者並びに海上作業従事日数が最も多かった漁業種類が定置網漁業及び海面養殖業である漁業就業者をいう。
5) 沖合・遠洋漁業就業者とは、沿岸漁業就業者以外の漁業就業者をいう。
6) 平成23(2011)年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く値。

4-12 新規漁業就業者数の推移

	平成23年度 (2011)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
新規漁業就業者数(人)	1,776	1,927	1,971	1,943	1,729	1,707	1,744
新規学卒就業者(%)	19.9	20.7	21.0	23.3	22.9	25.4	24.0
離職転入者(%)	68.6	64.7	66.8	65.6	65.4	67.1	67.7

資料：都道府県が実施している新規漁業就業者に関する調査から水産庁で推計

- 注：1) 新規学卒就業者は、学校等を卒業し他産業に主として従事することなく当該年次に新たに漁業に就業した者である。
2) 離職転入者は、他産業に主として従事していた者で当該年次に新たに漁業に主として従事した者である。
3) 新規学卒就業者及び離職転入者の比率は、新規漁業就業者のうち回答のあった者における割合である。

4-13 我が国の漁船勢力の推移

(単位：隻)

	昭和43年 (1968)	48 (1973)	53 (1978)	58 (1983)	63 (1988)	平成5 (1993)	10 (1998)	15 (2003)	20 (2008)	25 (2013)	30 (2018)
計	345,606	331,274	320,972	320,949	293,934	267,574	236,484	213,808	185,465	152,998	132,201
無動力漁船	95,701	54,303	30,474	24,815	16,815	12,869	7,840	7,688	5,327	3,779	3,080
船外機付漁船	74,115	99,349	111,860	119,358	114,914	108,121	98,109	91,195	81,076	67,572	59,201
動力漁船	175,790	177,622	178,638	176,776	162,205	146,584	130,535	114,925	99,062	81,647	69,920

資料：農林水産省「漁業センサス」

注：海面漁業で過去1年間に、自営漁業のために使用されたものであって、調査日時点で保有しているもの。



5 漁 村

5-1 漁港数の推移

(単位：港)

		平成24年 (2012)	29 (2017)	令和2 (2020)	3 (2021)	4 (2022)
漁 港 数		2,912	2,860	2,790	2,785	2,780
第1種	その利用範囲が地元の漁業を主とするもの。	2,200	2,128	2,052	2,047	2,042
第2種	その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの。	499	519	525	525	525
第3種	その利用範囲が全国的なもの。	101	101	101	101	101
特定第3種	第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもの。	13	13	13	13	13
第4種	離島その他辺地にあって漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの。	99	99	99	99	99

資料：水産庁調べ

注：各年4月1日時点の漁港数。

5-2 漁港登録漁船隻数の推移

(単位：隻)

	平成22年 (2010)	27 (2015)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)
漁港登録動力漁船隻数	181,509	173,875	160,227	155,848	152,473

資料：水産庁調べ

注：各年12月31日時点の隻数。

6 水産物の栄養

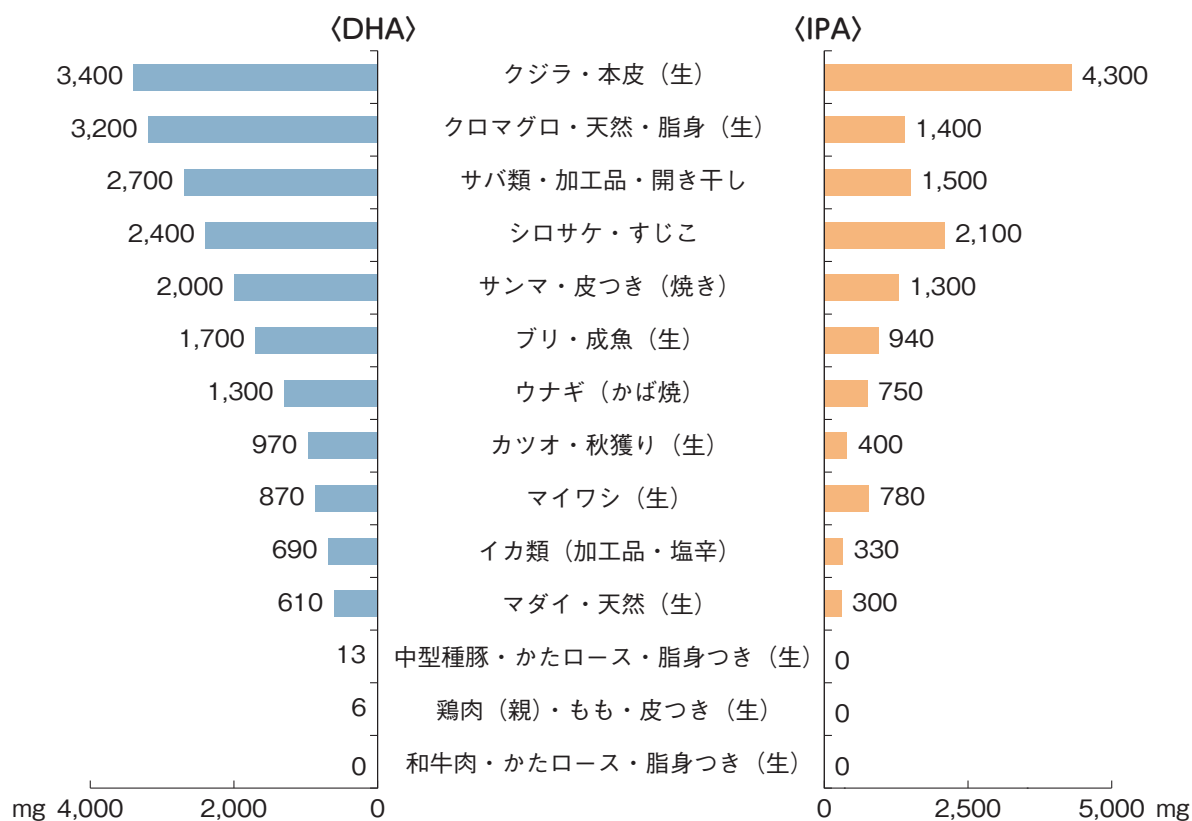
1人1日当たりの食品群別栄養素等摂取量（令和元（2019）年）

	摂取量 (g)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カリウム (mg)	カルシウム (mg)	マグネシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンD (μg)	ビタミンE (mg)	ビタミンB ₁₂ (μg)
総摂取量	1,979.9	1,903.0	71.4	61.3	2,299.4	504.9	247.1	7.6	6.9	6.7	6.3
うち魚介類	64.1	101.8	12.2	4.8	179.6	37.1	20.2	0.7	5.3	0.9	4.2
うち肉 類	103.0	237.0	17.6	17.2	259.0	5.7	19.0	0.8	0.2	0.3	0.9
うち卵 類	40.4	61.1	5.2	4.1	52.2	20.6	4.4	0.7	0.7	0.4	0.4
うち乳 類	131.2	104.2	5.1	5.1	190.8	161.5	15.1	0.0	0.2	0.2	0.4
魚介類からの 摂取量の割合	3.2%	5.3%	17.1%	7.8%	7.8%	7.3%	8.2%	9.2%	76.8%	13.4%	66.7%

資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」（令和元（2019）年）

注：新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度及び3年度調査は中止されたため、令和元年度調査のデータに基づき資料を作成した。

6-2 ドコサヘキサエン酸（DHA）及びイコサペンタエン酸（IPA）を多く含む食品の例



資料：文部科学省「日本食品表示成分表2020年版（八訂）脂肪酸成分表編」に基づき水産庁で作成

注：DHA及びIPAの含有量は、可食部100g当たりの質量（mg）。